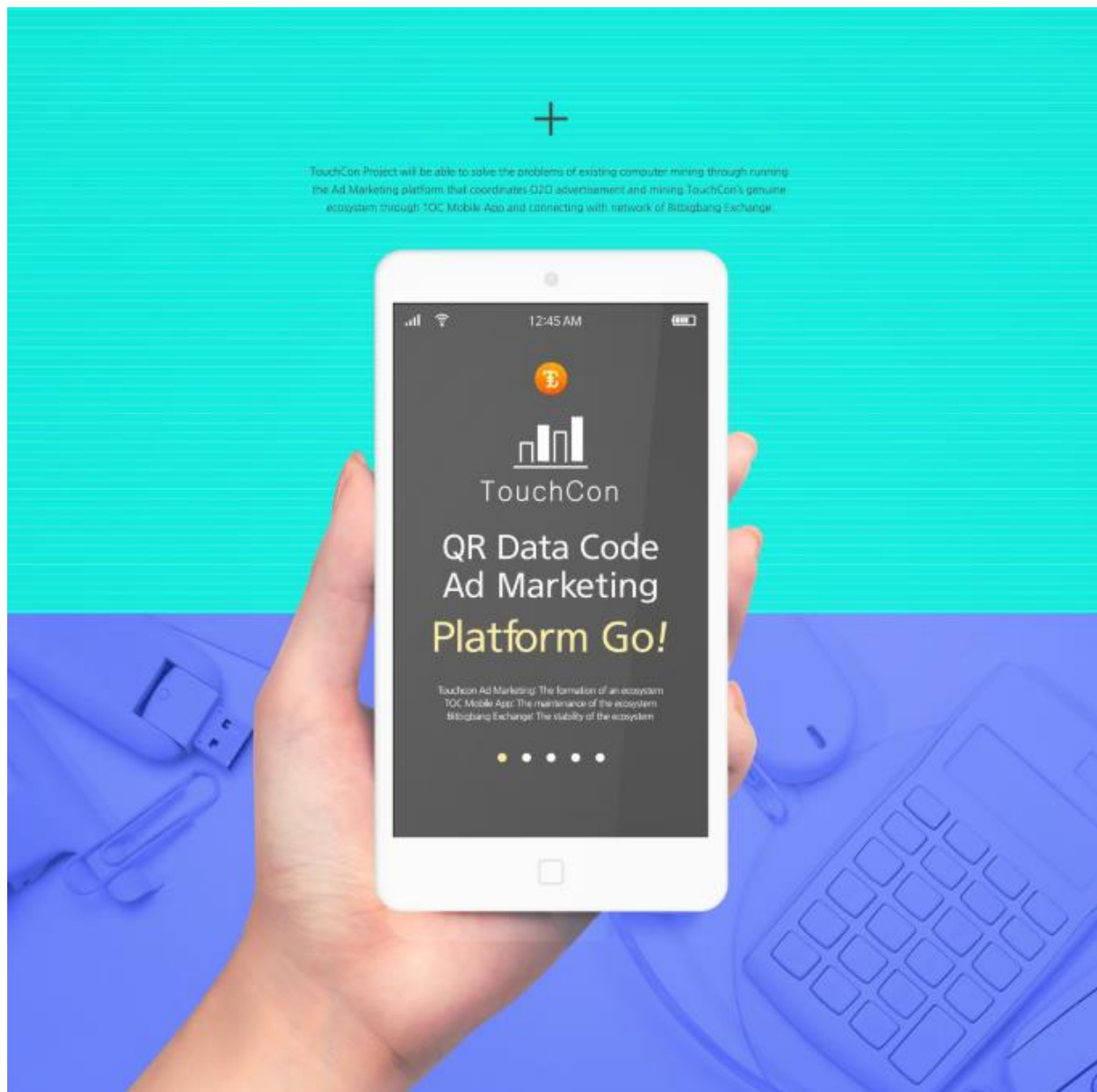


TouchCon : TouchCon Eco-system Project

Whitepaper

Initial Version V1.0. 20171130 / Final Version V2.0. 20180228



TouchCon Ad Marketing Platform of TouchCon Foundation

Contents

Abstract

1. Introduction - A solution approach to a problem --- 04
2. Project target --- 05
3. Project value --- 06
4. TouchCon Eco-system Project --- 08
 - 4-1. Ad Marketing Platform
 - 4-2. TOC Mobile Application
 - 4-3. Bitbigbang Exchange Build
5. AMRP(Ad Marketing Reward Program) --- 13
 - 5-1. AMRP Concept
 - 5-2. Ad Marketing AirDrop Supply
 - 5-3. AMRP distribution method
6. Ad Marketing market analysis --- 16
7. QR Data Code Technology Architecture --- 22
 - 7-1. Concept
 - 7-2. Software Architecture
 - 7-3. Deployment Method
 - 7-4. Ad Marketing Platform Deployment Scope
8. Token Distribution --- 27
9. RoadMap --- 31
10. TouchCon Development Team & Advisors --- 32
11. Useful Reference Documents --- 38
12. About advertising partner selection --- 39
13. TouchCon eco-system Project Process --- 40

TouchCon: TouchCon Eco-system Project

Initial Version V1.0. 20171130, Final Version V2.0. 20180228

www.touchcon.io



Abstract

暗号貨幣は、パソコン採掘に参加した採掘者に補償として支給するが、採掘は24時間電気を使用するため、莫大なエネルギーの浪費と地球温暖化問題を発生することになる。我々は電気式パソコン採掘を非電気式広告マーケティング方式に変え、問題点の解決を提案する。

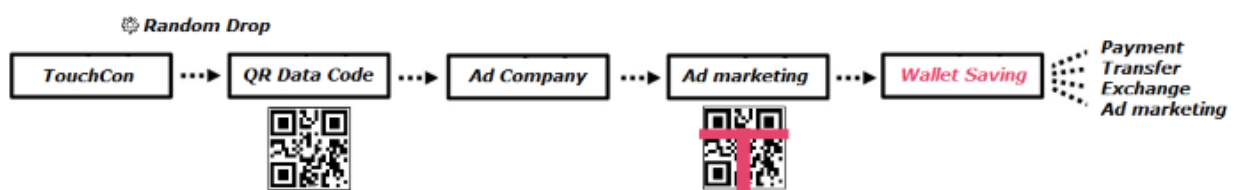
この方式はタッチコンを Pre-mined で獲得し、タッチコン価値を QR Data Code にランダムに保存させ、保存された QR Data Code は O2O 広告に使えられるように広告主に販売されることになる。ユーザーはこの方式を通して製品やサービスに付着された QR Data Code に容易く接することができ、Scan を通じてタッチコンを獲得できるようになり、その結果、タッチコンに対する興味と関心はより高まる。

広告主はタッチコン価値が保存された QR Data Code を購入し、On line ではゲーム、SNS、ショッピングモール等を使用し、Off line は製品と Store に印刷または贈呈する形で活用することで広報及び売上増大効果が期待できる。広告主に販売された収益金は既存タッチコン保有者に AMRP 方式に公正分配する。

QR Data Code スキャンを通じて獲得したタッチコンは、オンライン及びオフラインでの決済はもちろん、P2P 及び自由な送金に使われ、HTS ソリューションで構築された Bitbigbang Exchange を通じて自由な売買及び交換が成される。



Ad Marketing Platform Process



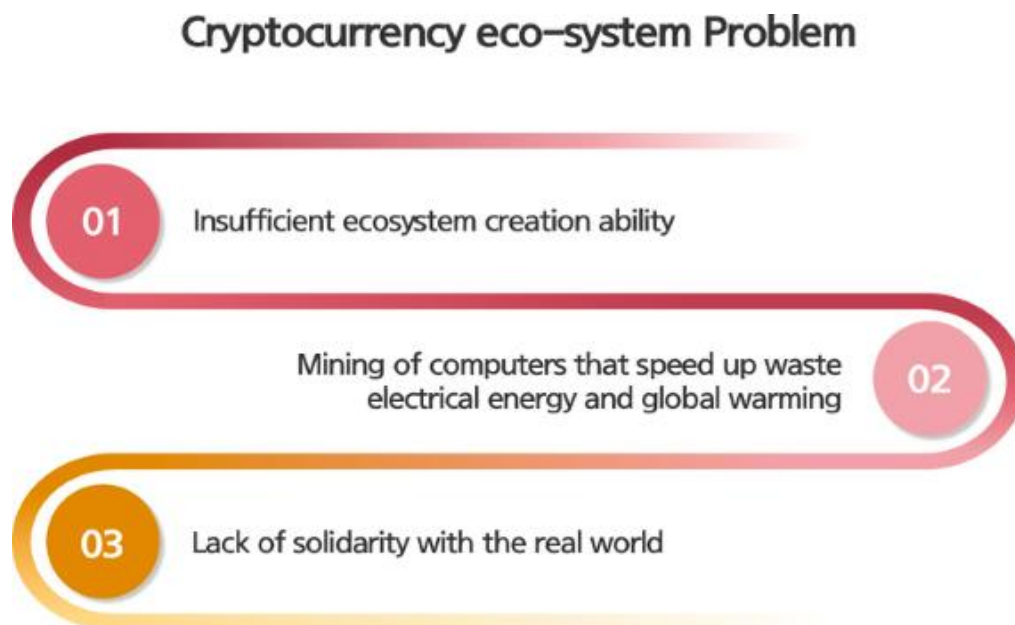
1. Introduction - A solution approach to a problem

2009年1月3日生成されたビットコインを含む1600種の暗号貨幣は、ここ10年間混乱があったにも関わらず、持続的に生態系を維持している。しかし、2017年9月から始まった各国の暗号貨幣規制は生態系脅威要素になっているものの、全ての現象には原因と結果があるように現在市場観察者たちは暗号貨幣の不安要因を大きく3つに指摘している。

一つは、生態系造成能力の不足だ。

次は、パソコン採掘による電気エネルギー浪費と地球温暖化問題だ。

三番目は、暗号貨幣と現実世界との信頼不足である。



生態系造成は、生態系維持と安定のために非常に重要である。生態系造成を通して次の段階である維持と安定に進められるためである。しかし、各国の政府の規制により生態系造成はより難しくなり、一部のスキャンまで登場し、事態をより悪化させている。

また、パソコン採掘の問題点が急浮上し、EU(ヨーロッパ連合)を含む G20 会議ではまた他の規制の原因として指摘している。特に暗号貨幣と現実世界の連帯感を強化させる環境が造成されてない状態であるため、暗号貨幣に対する大衆の不信がより高まっており、そういう理由により暗号貨幣の生態系は非常に混乱な状況である。

2. Project Target

TouchCon Project は、eocsystem project として最終目的はタッチコンの生態系完成である。そのため、タッチコンは現実世界と密接な関係を持つための様々な方法を試みることであり、それは生態系造成及び維持・安定を図るためのものである。

まず、プロジェクト目的を達成するために計3つのソリューションを構築することになるが、Ad Marketing Platform は生態系を造成する役割であり、決済及び送金を支援する TOC Mobile Application は生態系を維持させる機能をする。

最終的には Bitbigbang Exchange ソリューションはタッチコンの便利かつ安全な売買を支援することで、生態系を安定させる。

The image is a promotional graphic for the TouchCon Platform. At the top left is the TouchCon logo, which consists of a red circle containing a white 'T' with a vertical line through it, followed by the word 'TouchCon' in red. Below the logo, the text 'TouchCon Platform' is written in large, bold, red letters. Underneath this, a red horizontal bar contains the text 'QR Data Code Ad Marketing Platform' in white. In the center, three smartphones are displayed, each showing a different application. The leftmost phone shows the 'TOC Mobile App' with a blue header and various icons. The middle phone shows the 'TouchCon Ad Marketing' app with a blue header and a grid of icons. The rightmost phone shows the 'Bitbigbang Exchange' website with a white background and a table of data. Below the smartphones, there are three labels: 'TOC Mobile App One Stop Service', 'TouchCon Ad Marketing', and 'Bitbigbang Exchange www.bitbigbang.com'.

3. Project Value

タッチコンプロジェクトの価値は、QR Data Codeを広告に融合させた Ad Marketing Platformである。大多数のコインが意味のない Airdropをするが、タッチコンは QR Data Codeを広告に融合させる。特にパソコン採掘の問題点を解決する AdMarketingPlatformは、大衆との信頼を図るプラットフォームである。

タッチコンプロジェクトのもう一つの価値は、オリジナルで開発される2次元立体コードの拡張性である。タッチコン財団により特許申請が完了された発明の名前は「QR Codeを用いた暗号貨幣採掘システム及び方法」である。開発は計2段階で行われ、1段階は QR Data Codeで暗号貨幣を採掘し、2段階拡張では映像を送受信することになり、様々な広告に活用することができるようになる。

タッチコン生態系プロジェクトは、タッチコン生態系全般に包含する複合的概念のプロジェクトにイーサリウム基盤のブロックチェーンに QR Data Codeを融合させ、現実世界と交感を高めるようになる夢幻の価値を保有した広告プロジェクトである。



4. TouchCon Eco-system Project

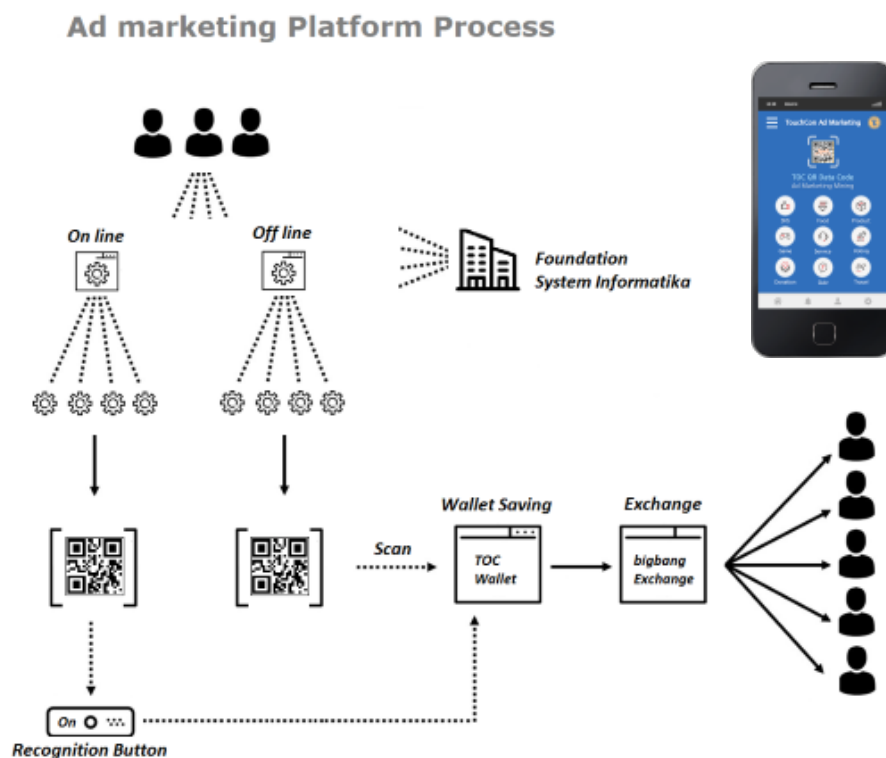
暗号貨幣市場は、生態系造成、維持、安定において内・外部的脅威に直面した非常に不安定な状態に見え、特に多様な ICO Scam と共に暗号貨幣としての機能不足、特に取引所ハッキングとモラルハザードは各国の政府の規制を呼び寄せている。

タッチコン生態系プロジェクトは、生態系造成及び維持、安定という3つの分野に細分化し、各自の環境に合うソリューションを構築することで生態系を完成させる。



4-1. Ad Marketing Platform

タッチコンの価値を QR Data Code にランダムに保存させ、これを O2O 広告に使用し、獲得できるように作った広告プラットフォームである。現実世界の広告を暗号貨幣と連動させることで、大衆との信頼を構築し、さらには生態系造成を簡単に作ってくれる。これはパソコン採掘の限界を克服する目的も持っている。プラットフォームはオンラインとオフラインに分けて、タッチコンを獲得することになる。



4-1-1. QR Data Code

既存の2次元QR Codeを革新的に発展させたQR Data Codeは、Scanを通じて暗号貨幣を獲得(採掘)するようになり、2次的には映像送受信を通じて広告の手段として使用することになる。QR Data Codeは2次元立体コードにタッチコンの価値を入力させたコードを意味する。

4-1-2. ランダム and Airdrop

タッチコンの価値をQRDataCodeに入力する時、同じ価値を画一的に与えることではない。最小単位の価値(1 TOC)と最高単位の価値(10,000 TOC)を混合して入力することになる。これはユーザーに多様な興味と楽しさはもちろん、運と同じ要素を与え、参加率を高める作用をすることになる。

4-1-3. 現実世界との信頼構築

タッチコンプラットフォームは、生態系造成に非常に有利な位置にある。現実世界のO2O(On line to Off line)で製品やサービスに露出されているために好感度の上昇が可能であるためである。親しい友達同士でカフェでコップに印刷されたタッチコン QR Data Code をスキャンする様子を想像してみよう。



A は 1 TOC を獲得することができ、友達 B は 100 TOC を獲得できるためである。これは現実世界で暗号貨幣がユーザーに楽しさという要素と期待心理を与え、共感を作り出すことのできるように役立つ。共感の形成は即ち信頼の構築となる。



4-2. TOC Mobile Application

Touchcon は ecosystem 維持のために 4 つの機能を駆動させることのできる TOC Mobile Application を構築し、ユーザーが Application をダウンロードすると One-Stop Service を簡単に利用できる。④Payment ⑥Transfer ③Exchange ④QR Ad Marketing 機能がそれぞれである。



- ①Payment: 財貨またはサービスを利用し、TouchCon 決済が可能だ。
- ②Transfer: P2P を含む自由な送金が可能だ。
- ③Exchange : Bitbigbang Exchange で自由な売買及び交換が可能だ。
- ④QR Ad Marketing: O2O 広告を通じて自然主義発掘ができる。

4-3. Bitbigbang Exchange Build

Bitbigbang Exchange は、QR Data Code Ad Marketing を支援する Exchange platform である。初期 Bitbigbang Exchange は、TouchCon 生態系安定のために運用され、取引所拡張を通じたファイナルソリューションは、全世界 10 カ国を相互ネットワークに連動させる。いつでも該当国家の実物貨幣に交換できる融合性を目標とすることになる。

Bitbigbang Exchange は、分散型取引所(DEX)を構築するためのプロジェクトである。暗号貨幣生態系安定では、分散型取引所の有無が最も重要な判断基準となる。取引所ハッキングは、全体生態系の安定を脅威する最も危険な事だからである。

The screenshot displays the BitBi9Ban9 website interface. At the top, there's a navigation bar with the logo and links for 'Tentang Perusahaan', 'Lamanku', 'Dukungan Pelanggan', and 'Mitra'. Below this, a four-step registration process is outlined: 1. Daftar Anggota (Registration), 2. Verifikasi (Verification), 3. Download HTS /MTS (Download), and 4. Bertransaksi (Transaction). Each step includes a brief description of the process. A prominent 'Mendaftar' (Register) button is centered below the steps. At the bottom, there's a 'PERHATIAN' (Attention) section with a note about the Indonesian public trial. Below the main content, a table titled 'Harga real time di bursa' (Real-time market prices) lists the prices for BTC, ETH, BCH, and XRP. To the right of the table, there are icons for HTS (Home Trading System) and a 'Pena' (Pen) icon.

No	Koin	Harga real time	Nilai perubahan	Jumlah transaksi	Total transaksi
1	BTC	94,362,850Rp	94.00Rp(0.00%)	0 BTC	0Rp
2	ETH	5,241,492.5Rp	5.00Rp(0.00%)	0 ETH	0Rp
3	BCH	8,849,725Rp	8.00Rp(0.00%)	0 BCH	0Rp
4	XRP	6,907.12Rp	6.00Rp(0.00%)	0 XRP	0Rp

Bitbigbang Exchange は、株式市場の HTS(Home Trading System)を基盤に構築されるソリューションとして、オリジナル技術で開発した 4 つの保安システムを通じて安定性を確保してくれる。特に自動取引システムは、Bitbigbang Exchange が誇る最適化された売買プログラムソリューションである。

Bitbigbang Exchange Solution は、100%オリジナル技術を通じて具現された完璧な保安システムを疲労する HTS ソリューションであり、主に 4 つの特徴がある。



㊤暗号復号化技術 AES 256Bit 具現: 最も強力な国際標準暗号化技術を 256 ビートで具現

㊤検証保安技術 TCHC(Time Check Hash Code): 特定の値をサーバーに伝送する際、各時間に合うハッシュ値を伝送し、サーバーにこの値を通じて正常パケットなのか分析する技術、クライアントとサーバーに同時適用技術

㊤伝送保安技術 DSPT(Dynamic Session Parameter Trans): 特定値をサーバーに伝送する際、重要 Data はウェブの Get/Post 方式ではなく、サーバーのセッションデータターを利用、ハッカーのスニффイングに全く露出されない技術

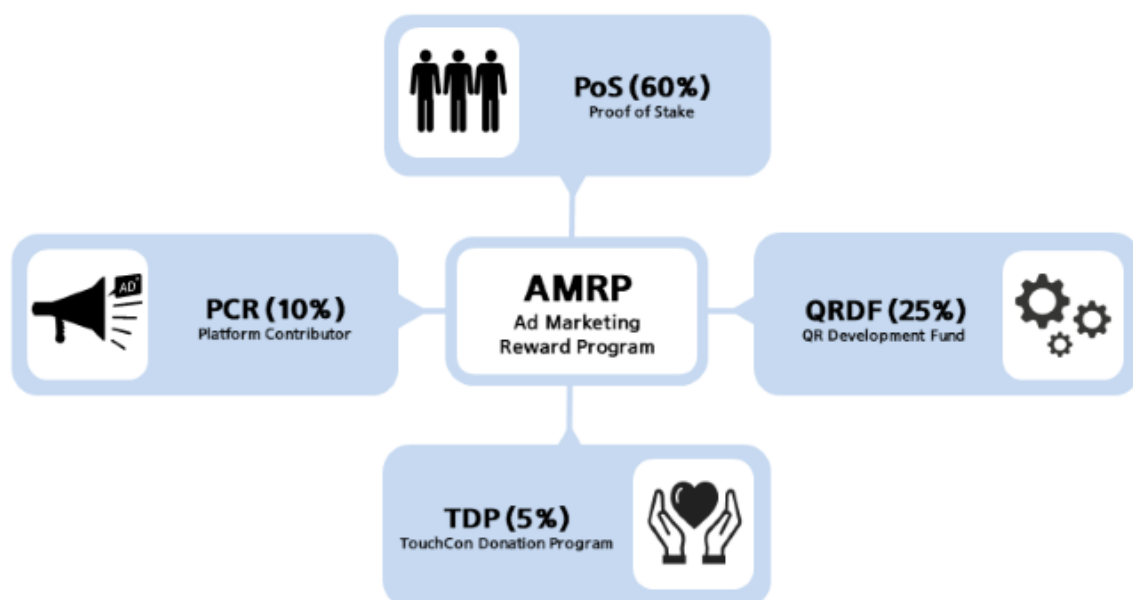
㊤分散データ保存技術: ブロックチェーンを通じた分散データ保存技術で協力な保安及びハッキング防止機能

5. AMRP(Ad Marketing Reward Program)

5-1. AMRP Concept

タッチコン QR Data code は、2018 年から 2027 年まで計 10 年にかけて Ad Marketing に使用することになるが、毎年 60 million TOC が各種商品の広告や広報のために印刷されたり挿入形式で Drop される。

この時、広告会社は QR Data Code を購入しながら、購入数量に該当する広告費を財団に払い、この財源は「AMRP」プログラムに使用される。また、公正な補償のためにプログラム特典をもらおうとするタッチコン保有者は touchconamrp.com に登録しなければならない。タッチコン財団は保有期間及び数量に沿って非常に公正な補償を年 1 回実施することになる。



5-2. Ad Marketing Airdrop Supply

※ Annual Ad marketing quantity = Total Ad Marketing Supply (TAS) * 10 years

※ TAS in 2018 = 588 million TOC * 10 year = 58,8 million TOC

※ **Final determined annual flight volume**

-2018~2026 = 60 million

-2027 = 48 million

5-3. AMRP distribution method

AMRP プログラムに使用することになる 1 次財源は QR Data code 販売を通じた収益金であり、2 次財源は海外で運用される Bitbigbang Exchange 手数料収入の一部が追加される予定である。3 次財源はオリジナルで開発中の QR Data code 広告映像がマーケティングに適用される場合に発生することになる広告料の収入である。AMRP 財源に対する具体的な方法及び施行時期等は今後財団コミュニティ Voting を通じて決定される。

①PoS(Proof of Stake) Type Reward

タッチコン保有者に生態系造成と安定に寄与した功勞として支給する持分証明方式の補償プログラムである。AMRP 総財源の 60%が割り当てられ、公正に分配される。

※PoS Payment rate(%) = Circulating Supply * QR Data Code sales volume

※Payment rate for 2018 = 109,200,000 TOC * 36,000,000 TOC(60%) = 33%

②PCR(Platform Contributor Reward)

タッチコン保有者が広告会社を渉外及び斡旋した場合、支給することになる功勞プログラムである。AMRP 総財源の 10%が割り当てられ、公正に分配される。

※PCR Payment rate(%) = Total order amount * 5~10%(Compensationrate)

※Compensationrate base

-Under a million dollars(5%), 1 million(7%), 10 million(9%), 100 million(10%)

③QRDF(QR code Development Fund)

毎年 AMP のために使用することになる経費及び QR Data Code 発行費用、3 次元映像 QR Data Code 開発費に使用する。AMRP 総財源の 25%が割り当てられて使用される。

※QRDF Payment rate(%) = Total ad revenue * Allocation ratio(25%)

④TDP(TouchCon Donation Program)

総財源の5%を国際社会奉仕と献身のための用途に使用することになる。2018 年末に割り振りされる TDP は、UN 及び各国の救護財団に財団規則に沿って公正に配分され、その規模や方法、施行時期等はコミュニティ Voting を通じて決定される。

※TDP Rate(%) = Total ad revenue * Allocation ratio(5%)



6. Ad marketing market analysis

6-1. Introduction

QR Data Code を応用したタッチコン広告マーケティングは、2019 年 3 月頃 5 ヶ国で開始され、日本、中国、インドネシア、ベトナム、韓国がその対象である。これら国家は大部分アジア国家であり、経済及び人口大国として中国を除いては、暗号貨幣政策も非常に友好的な国で構成されている。この国家らは初期タッチコンの世界化戦力に非常に時宜に合ったターゲットになるだろう。



中国は暗号貨幣敵対国家ではあるが、14 億という人口波及力を無視できず、特にタッチコンは QR Data Code を広告に活用するのであるため、流通市場でも十分にマッチングできると判断された。中国は QR Code を利用した決済が全体市場の 80% を占めるほどに QR Code に対して非常に馴染みのある国家である。

毎年タッチコンに参加することになる国家数は増加することになるが、今後 10 年間参加する最大国家数は約 50 ヶ国と推算している。10 年後、タッチコン広告が使い切られたら、新しい財源で補充するか、増加させることに対してコミュニティで議論が行われ、この全ては Voting を通じて決定される。これはタッチコン生態系の維持に非常に重要な要素である。

6-2. Analyze the cost of advertising by country

QR Data Code 広告が行われる国別広告市場のボリュームを調査して見ると、世界経済の浮沈によって多少の差はあるが、毎年一桁以上の成長が続いており、特に全世界的にモバイル広告市場のボリュームが目立って増加している。

5 カ国の中で IT インフラ及び OECD 上位にある韓国を対象に広告市場ボリュームを調査して見ると、今後タッチコン広告市場規模を推定できるであろう。以下は韓国広告会社「ゼイル企画」で「2016~2017 年細部媒体別広告費分析」の結果である。

Ranking as advertising cost by detailed media('16~'17)

(Unit : \$ million)

No	2017			2016		
	Media	Ad costs	Share	Media	Ad costs	Share
1	Mobile	2,057	19.9%	Cables	1,622	16.0%
2	Cables	1,706	16.5%	Mobile	1,621	16.0%
3	PC	1,508	14.6%	Terrestrial	1,607	15.8%
4	Terrestrial	1,413	13.7%	PC	1,520	15.0%
5	Newspaper	1,305	12.6%	Newspaper	1,366	13.5%

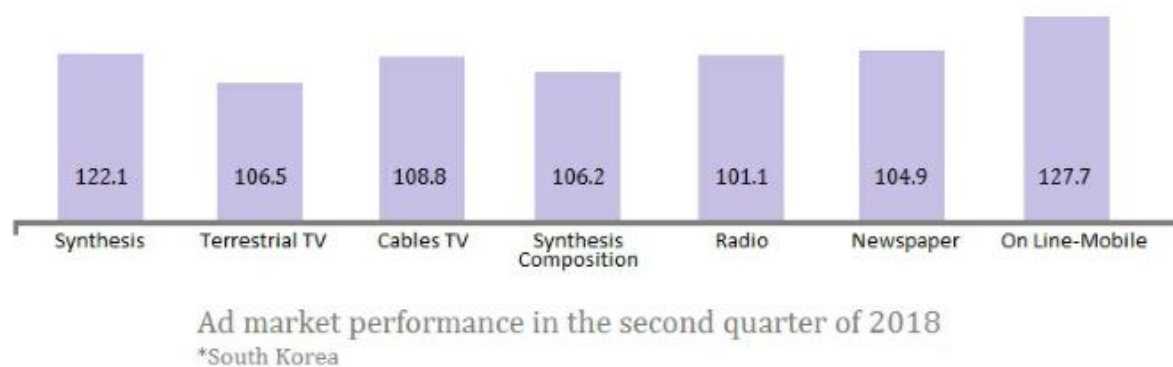
2017 年韓国で発生した広告費全体のボリュームは、2016 年対比 1.8%成長した\$10,334 million である。この中でモバイル広告費は 27%に近い成長率を見せ、\$2,057 million を突破した。現在、広告費 1 位と 5 位媒体の占有率格差は 2016 年対比増加し、媒体間の競争で優劣順位が段々膠着化されつつある。特にモバイル市場は圧倒的な成長勢を見せている。

最初、タッチコン広告が開始される初期市場は、オフライン市場が最も有力である。オフラインはユーザー露出が早く、顧客をあっという間に確保できるという長所があるためである。

2018 年韓国広告市場の規模を 2017 年対比 4%成長することと予想し、2019 年初タッチコン相場を最低\$1 ドルだと推定すると、初期タッチコン広告市場規模は全体市場対比 0.5%に過ぎない。この数値はタッチコンが差別的な戦術で広告市場に進入する場合、ほんの少しの努力でも目標を達成できるということを意味する。

※2019 Ad Market Volume = 60 million TOC * \$1.00(TOC market price) = \$60 million

参考までに、韓国の 2018 年 2 期広告市場は非常に活気溢れ、明るい方である。以下の図表は現在 2018 年 1 期対比 2 期の高い市場性を表す数値で、韓国の広告市場が非常に活発であることを表している。



2018 年から QR Data Code 広告に使用するタッチコンは毎年 60 million TOC で、タッチコン相場によって異なる市場規模が適用される。この数値をドル基準に推定すると以下の通りである。タッチコン相場が\$10 ドルになると、タッチコン広告マーケティングボリュームは、最高\$6 億ドルに至る。

※ Volume of advertising costs according to the market price

TouchCon Exchange Price	QR Data Code Ad Marketing Supply	Ad Marketing Volume	Reclamation rate
\$0.50	60 million	\$30,000,000	50%
\$0.80	60 million	\$48,000,000	50%
\$1.00	60 million	\$60,000,000	70%
\$3.00	60 million	\$180,000,000	90%
\$5.00	60 million	\$300,000,000	90%
\$10.00	60 million	\$600,000,000	90%

6-3. 国別 AirDrop Supply

2019 年、QR Data Code は日本を始め、5 カ国の広告会社に順番に Airdrop し、この全ての流れはオープンソースで公開する。

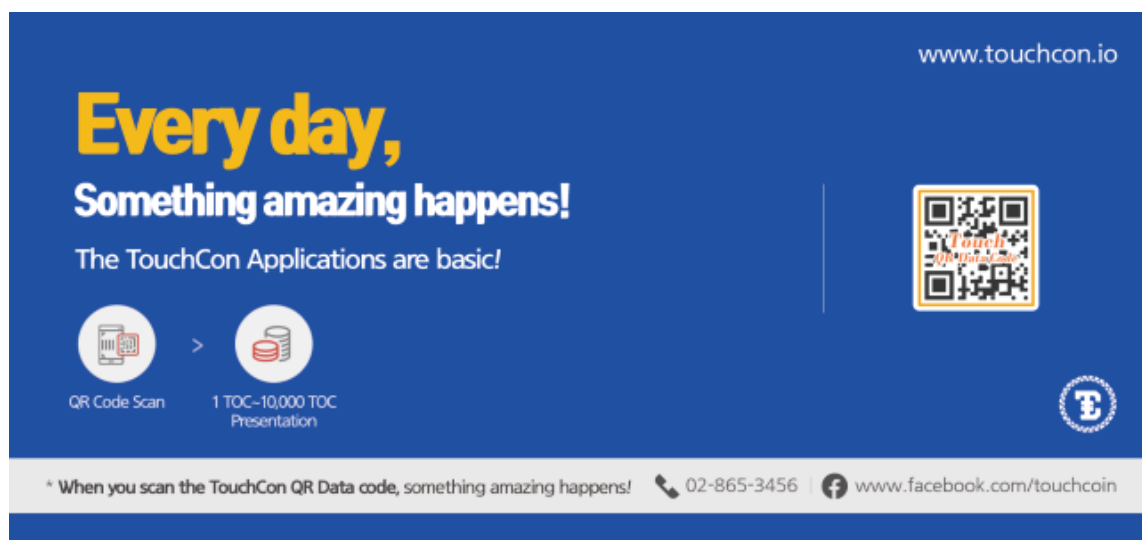


QR Data Code を広告に使用する場合、最も適切な広告効果を見ることができる分野と業種は、該当業種で 3~7 位圏にある会社が最も良い売上増加効果が見られることと予測される。財団が選定した 10 代業種及び品目は、各国別の特徴に合わせて選定されるが、以下は 5 カ国に対する基礎体力を基に最終的に確定されたタッチコン Airdrop Supply である。

	Population	National income	Drop Target	Drop Supply
Japan	127,000,000	\$39,000	Product/service	30%
China	1,379,000,000	\$8,120	Product	10%
Indonesia	260,000,000	\$3,570	Product	20%
Vietnam	93,700,000	\$2,180	Product	10%
South Korea	51,250,000	\$28,000	Product/service	30%

6-4. 最適の効果のための広告業種

QR Data Code は、特に総合ショッピングモール、専門ショッピングモール、化粧品、フランチャイズ、カフェ、居酒屋、飲料、ファーストフード等の分野で使用する場合、売上向上と広告効果を期待以上得ることができる。各業種では業界1位及び2位圏よりは3位~7位圏に形成された会社が主要対象となり、オフライン売り場は2つの方向性を持って、広告及び広報効果を狙うことができる。



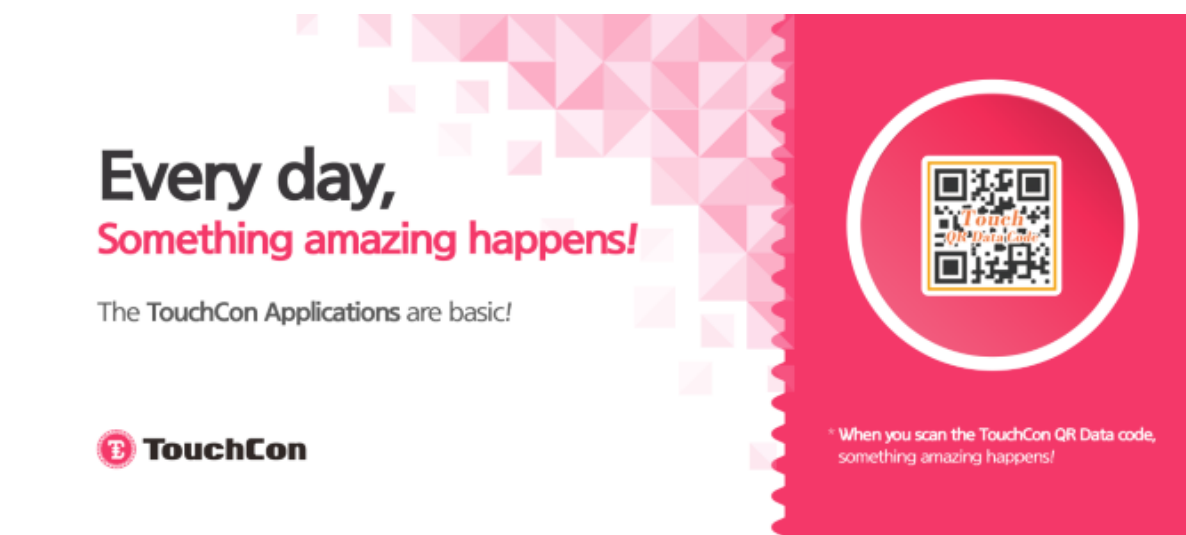
www.touchcon.io

Every day,
Something amazing happens!

The TouchCon Applications are basic!

QR Code Scan > 1 TOC ~ 10,000 TOC Presentation

* When you scan the TouchCon QR Data code, something amazing happens! ☎ 02-865-3456 📱 www.facebook.com/touchcoin



Every day,
Something amazing happens!

The TouchCon Applications are basic!

TouchCon

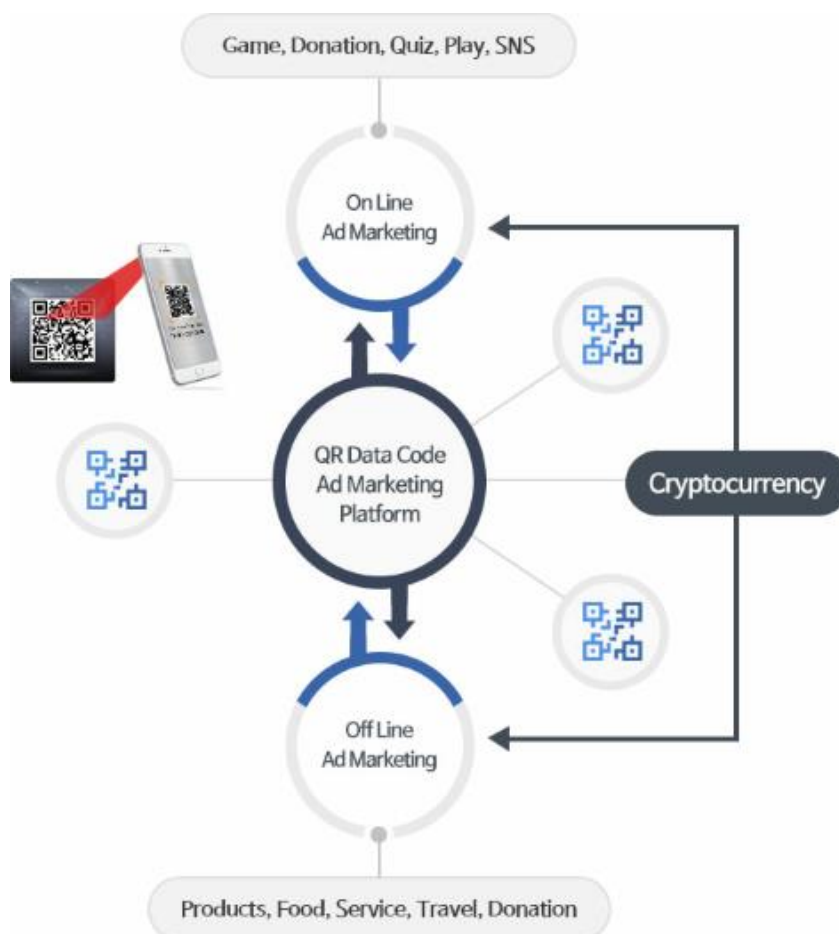
* When you scan the TouchCon QR Data code, something amazing happens!

- ① テーブルごとに注文売上額\$50 ドルを超えた場合：タッチコン商品券1枚贈呈等
- ② 売り場訪問回数に沿って支給する場合：10回訪問する場合、商品券1枚贈呈等

その他にもオンラインとオフラインの範囲で適用できるマーケットは非常に多様である。

① オンライン：ショッピングモール、SNS、ゲーム、遊び等

② オフライン：商品、フランチャイズ、外食会社、特典品、差し入れ物等



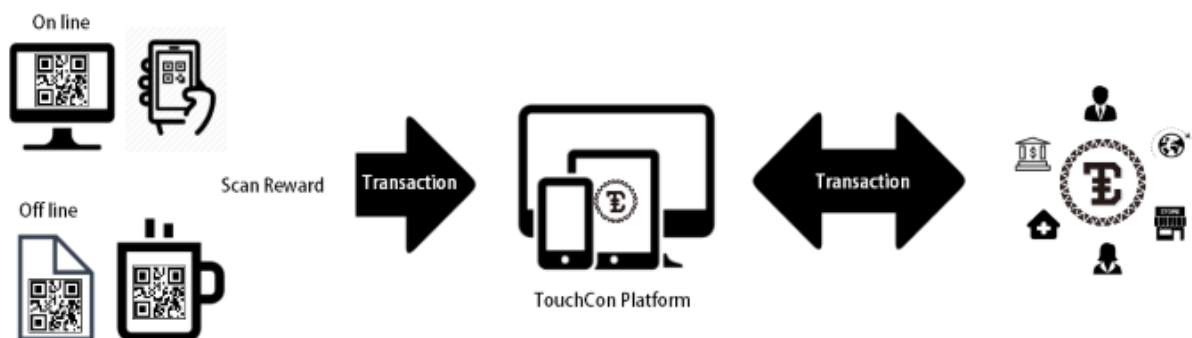
以下は QR Data Code を広告マーケティングに適用できる多様な事例として抽出された。

- カフェではコップに印刷し、広告マーケティングとして使用できる。
- 生活用品は包装容器や製品ラベルに印刷又はシールを付着して使用できる。
- 密封された袋製品の場合には、シールで製作された QR コードを挿入できる。
- 保険及び流通会社では、特典としてお客様に商品券形式で提供できる。
- インスタント飲料の商標ブランドに印刷して使用できる。

7. QR Data Code Technology Architecture

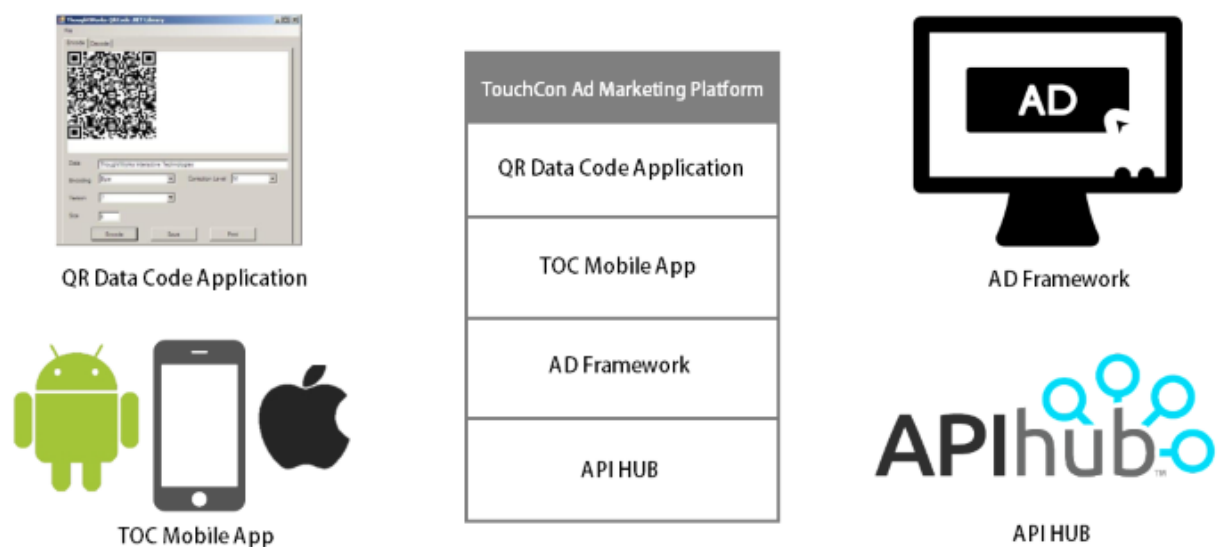
7-1. Concept

タッチコンアドマーケティングプラットフォームは、オン・オフライン上でタッチコンの価値がランダムに貯まった QR Data Code を Scan し、タッチコンを獲得及び積立ることになり、ブロックチェーン技術を用いて決済、送金、売買等と同じ金融取引を支援するプラットフォームを意味する。



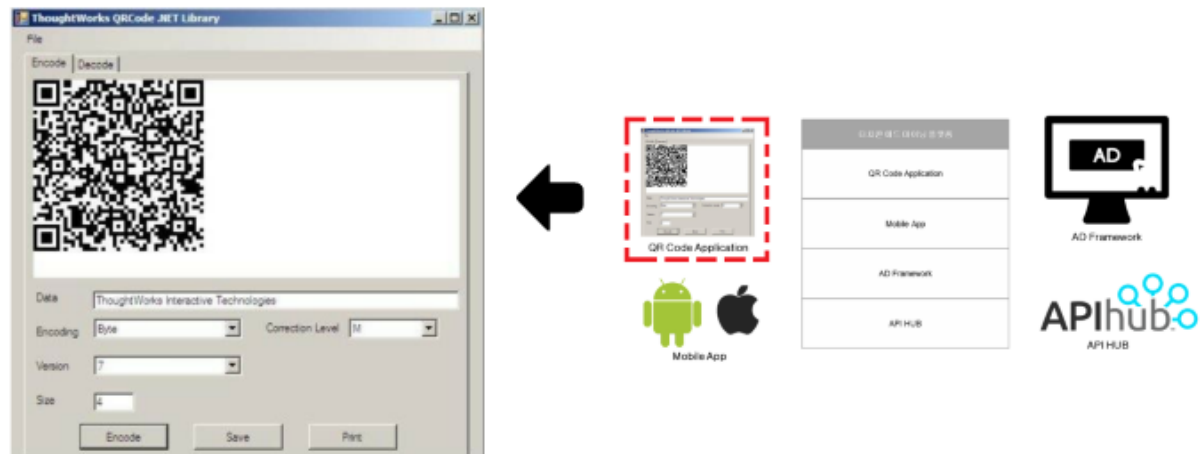
7-2. Software Architecture

タッチコンアドマーケティングプラットフォームは、QR Data Code を生成及び管理、発給する QR Data Code Application とタッチコンを獲得する Mobile App、ユーザーに広告を露出できる AD Framework、タッチコン Main Wallet と通信すべき API HUB で構成される。



7-2-1. QR Data Code Application

タッチコン財団で発行した TOC を QR Data Code で出力する Application で、予め発行すべき物量に沿って最低 1 TOC から最大 10,000 TOC をランダムに出力することになる。



7-2-2. Mobile Application

QR Data Code をスキャンし、タッチコンを獲得(Mining)してユーザーの Main Wallet を管理する機能を提供する。また、ユーザーはタッチコンを獲得(Mining)するために QR Data Code をスキャンすると広告主の広告を先に消費するようになる。



7-2-3. AD Framework

ユーザーが QR Data Code をスキャンする時、広告主の広告を露出してあげるために広告保存所に Mobile Application と通信するようになる。AD Framework の主要機能は広告動画及び広告イメージ等を管理する。



7-2-4. API HUB

AD Framework と Mobile Application、TouchCon Wallet 等 Data の全ての送受信を管理し、モニタリングできる Gateway 役割を果たすようになる。

7-3. Deployment Method

7-3-1. QR Data Code Framework

①QR Data Code Framework は、発行されるタッチコンの物量に沿って、QR Data Code に 1 TOC~10,000 TOC をランダムに与え、出力できる機能を具現し、TouchCon が識別できるイメージを QR Data Code に一緒に出力し、可読性を高める。



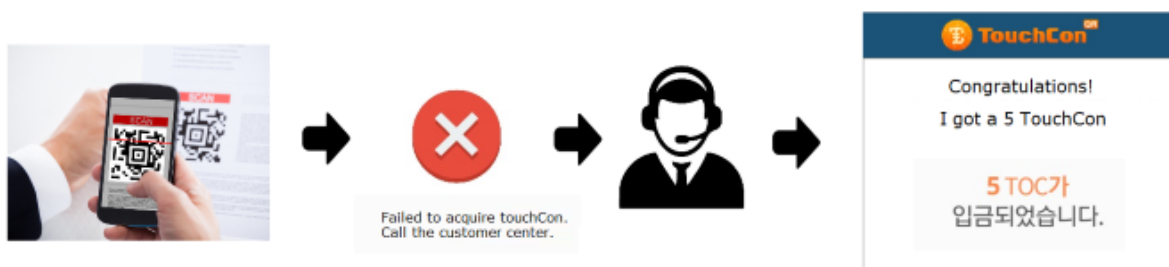
②QR Data Code は、オフライン売り場で商品包装紙に印刷されたものをスキャンできるタイプと商品包装紙内部に挿入し、密封された状態で配布する2つの形で発行する。



7-3-2. Mobile App

①タッチコンが獲得(Mining)できる Mobile App は、QR Data Code をスキャンする機能を持つようになり、ユーザーが広告を消費することができる AD Viewer 機能を持っている。タッチコン獲得(Mining)は、ユーザーが QR Data Code をスキャンすると先に広告を消費し、以降タッチコンが獲得(Mining)され、ユーザーの財布にタッチコンが貯まる過程で行われる。

②QR Data Code をスキャンしても獲得(Mining)されない場合は、Help Desk の介入を通してトークン該当ユーザーの TOC 財布に伝達する機能が必要となる。



7-3-3. 商品に対する非購入者 QR 採掘防止

商品を購入しないユーザーの採掘を防止するために商品包装紙内部に挿入して密封し、開封した後に Sca して採掘するよう誘導する。

7-4. Ad Marketing Platform Deployment Scope

①QR Data Code Framework

QR Data Code 発給及び管理、QR Data Code にタッチコンイメージを挿入し、出力

②Mobile Application

会員登録 - QR Data Code Scan(TOC 抽出) - AD Viewer(広告露出) - ユーザー財布情報
確認領域

- Android, iOS Version

③AD Framework

広告動画及び広告イメージ管理、広告露出時間による時間及び回数管理

8. Token Distribution

Token Distribution

The TouchCon TGE Target : 30,000 ETH

Exchange Rate : 1 ETH : 2,600 TOC(600 TOC, 30% Bonus Included)

Token Price : 0.0004 ETH



Coin Name: TouchCon

Symbol: TOC

Wait a minute! Let's think about it!

- Recently, Ethereum's market capitalization has surpassed the \$60 billion mark and reached \$100 million in early 2018.
- TouchCon AMRP is expected to receive \$100 million in orders from global advertisers over the Next decade, making TouchCon Reward more than 7 percent annually.

The total issuance amount will be 840 million TOC

❶ **13%** of TOC will be distributed to the TOC presale & TGE participants.

❷ **7%** of TOC will be kept for capital reserve.

-5% of pre-mined TOC will be kept for capital reserve. 5% Capital Reserves

-2% of pre-mined TOC will be kept by TOC foundation & Touchblock Technology
For capital reserve. 1% TOC foundation & 1% Touchblock Technology

③ **70%** of TOC will be Airdrop for Ad marketing using QR Data code

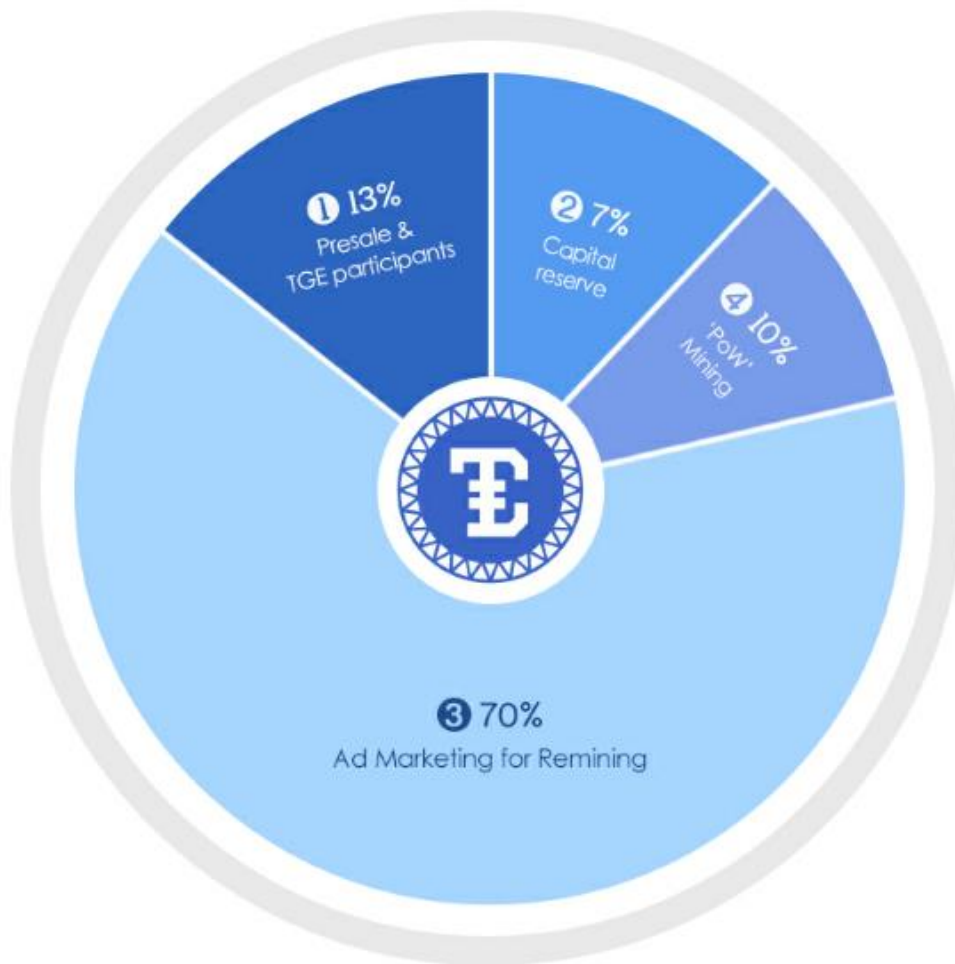
-It will be kept in the multi-Sig escrow.

-It will Airdrop 60 million TOC a year for advertising marketing purposes. It lasts 10 years.

④ The remining **10%** of TOC can be earned through equitable 'PoW' mining.

-The first block reward will be 3,000 TOC.

-Anyone can mining TouchCon for 30 years.



Use of Proceeds

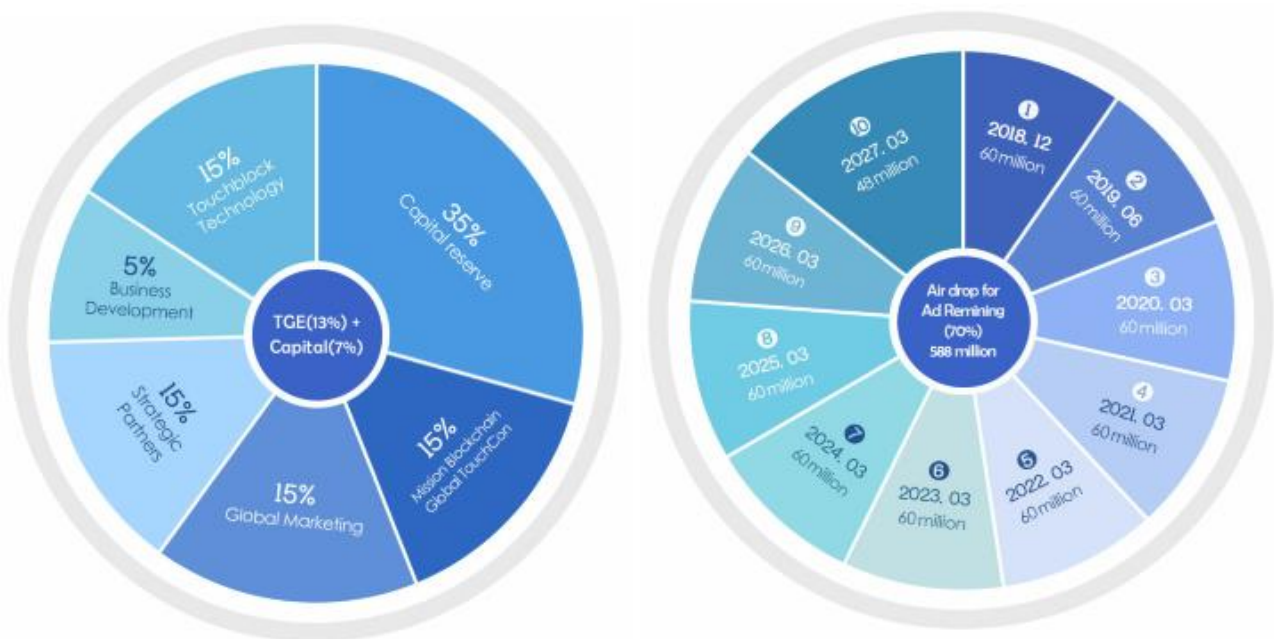
13% The Ethereum raised through presale & TGE will be used as below

①6% of pre-mined TOC will be used to implement TOC technology.

*3% TouchBlock Technology & 1.5% Mission Blockchain & 1.5% Global TouchCon

②3 % of pre-mined TOC will be used for global marketing, managing social media channels, advisors, and bounty programs. *3% Global Marketing

③4% of pre-mined TOC will be used to create infrastructure, eco-system organisation. liquidity management and activation. *3% Strategic Partners & 1% Business Development



70% Airdrop for Ad marketing using QR Data Code

①It will be kept in the multi-Sig escrow.

②It will air drop 60 million TOC a year for advertising marketing purposes. It lasts 10 years.

Token Sale Details

Start : 30 Apr, 2018 0900 UTC

End : 31 May, 2018 0900 UTC

Total quantity of TOC based on ETH/TOC exchange rate.

ETH value to be fixed at start of sale

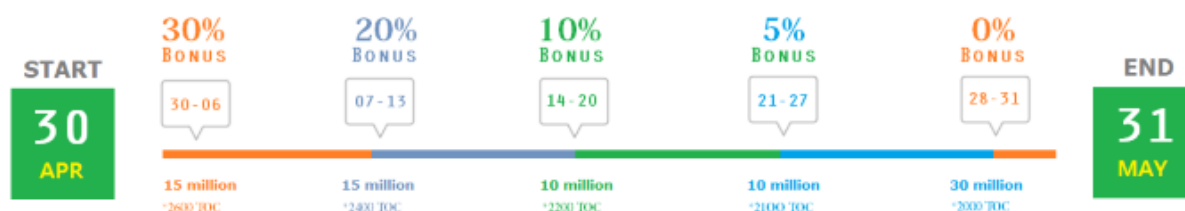
Minimum Contribution : 0.1 ETH / Max : 50 ETH

Token : ERC20

Payment Method : ETH

Unsold Tokens Burn

TouchCon eco-system Project TGE Structure



	Period	Bonus	Included	Quota
1week Presale	04.30~05.06	30%(600 TOC)	2600 TOC	15,000,000 TOC
2week Presale	05.07~05.13	20%(400 TOC)	2400 TOC	15,000,000 TOC
3week Presale	05.14~05.20	10%(200 TOC)	2200 TOC	10,000,000 TOC
4week Presale	05.21~05.27	5%(100 TOC)	2100 TOC	10,000,000 TOC
TGE	05.29~05.31	0%(0 TOC)	2000 TOC	20,000,000 TOC

9. RoadMap



10. TouchCon Development Teams



Ph.D. Choi Chang-Myeung of South Korea **CEO & Ad Developer**

Choi Chang-Myeung holds a doctor's degree in Business Administration from Kyunghee University, and now actively engaged in various activities in companies and universities as an Advertising Marketing Consultant and International Certified Management Consultant (ICMC). Recently, as the mobile advertising market expanded, he is applying advertising marketing techniques to block chain technology. He is now receiving attention from industry by applying the advertising marketing method using the QR code optimized for mobile advertising to the TBT block chain companies.



Dr. Razaq M. Chaudhry of U.S.A **Development Engineer**

Razaq received a doctor's degree in Electrochemical Engineering from Southampton University in England. In 2000, he served as a CEO and a senior researcher at cMAX-2000 Inc and Analytical Industries Inc, Pomona, and Analytical Industries. He received attention from industry by participating in the technology part of TouchCon and writing 17 related technologies in the international scientific journal.



Jardy Niel SP. Cuezad of Philippines **Blockchain Developer**

Cuezad is a programmer majored in Science in Information Technology in Central Luzon State University, and also a professor in Luzon University. He is an expert on System Administration, Network Security and Firewalls, HTML, CSS, and PHP MySQL database language. He worked for Cisco Networking and is involved in developing QR Data Code.



Dr. Muhammad Arslan Shehzad of U.S.A **Blockchain Developer**

In 2012, he was involved in software development in COMsats Information Technology Research Institute and Intel in United State of American. He is receiving attention from industry as an expert on synthesis technique of vsO Nanostructure applying VLS technique. He received a doctor's degree in Electric Engineering from Sejong University in Korea.



Ph.D. Song Mu-Ho of South Korea **Co-Founder & CMO**

He is a Ph.D. in Business Administration, a management consultant, a franchise professional consultant, and a professional advertising marketer. He has wide knowledge about franchise distribution system and has participated in numerous company improvements marketing including Hightech Vission. He attracted attention as an expert in advertising marketing in corporations and universities, and he will participate in advertising marketing of TouchCon using QR Data Code.



Bi Jian Lian of China **Development Engineer**

He is a machine learning expert with computer applications majored in Computer Applications in Jilin University. He holds technology on computer animation, Minicomputer operating system and application, Computer foundation and FOETRAN77 program design. He has completed teaching assistantship course at Beijing Jiaotong University and has been a professor at Jiangsu University after teaching at Mau information service research in Japan. He will participate in building Touchcon Ad Marketing Platform.



Yuxin of China **Co-Founder & CTO**

Yuxin is an expert in robot control technology, cloud computing and image control and he is active in the Association for Computing Machinery and the IT field of the Governmental Commission. He will study QR Data Code information input and image information extraction technology as well as mobile optimized scan technology in TouchCon. He is a professor of computer science at Jangsu University in China, and an image control expert.



Choi So-Hyang of China **Community Management**

She is a communication expert majored in English at Science and Technology College of the Beijing Normal University in China. In 2002, she worked at Samsung Mpeon, becoming a distribution marketing expert with both theory and practice. She is a career woman who is fluent in three languages including English, French and Chinese. She has deep knowledge and insight in international trade and marketing.



Lee Jun-Beom of Indonesia [Co-Founder & CFO](#)

He is an economic forecast and securities investment columnist. He has worked as an investment advisory expert at numerous securities firms including NH Investment & Securities and has been a senior manager of investment management at Dynamic Korea. In mid-2016, he anticipated the future of block chain and established the KCC Lab. He has been active in cryptocurrency ecosystems in Korea and Southeast Asia.



James Li of Indonesia [Development Engineer](#)

He is a computer programmer completed George Washington University PM and majoring in Business Administration in Sungkyunkwan University. He is an expert in SCJP, SOLARIS, CCNA, and ECL field, and received attention by participating in the comprehensive online program development at the IT Planning Department of the Korean Financial Industry. As an IT technology and program development expert, he has implemented various IT programs for the development of IT in Indonesia.



Ma Ji-Hyun of South Korea [Development Webdesign](#)

Ma Ji-hyun participated in the development of internet related software projects and she has specialized knowledge and skills in UX, UI and App & Web Design. She majored in Internet Information in university, and will express various images using QR Data Code in three dimensions in TouchCon Project.



Galih Pratama of Indonesia [Development Engineer](#)

Galih majored in Management in Stmik Bani Saleh University and a computer expert with specialized skills in computer hardware. He is attempting to fuse hardware and software to develop an efficient computer mining program. He will develop a mining program using the QR Data Code in the TouchCon Project.



Cho Kwang-Nam of South Korea **Management manager**

He has accumulated various experience and know-how in administration and management support work for SMS Company and many other advertisement marketing companies. He is a MOS Master and has rich internet operating experience in the online market. He also has accumulated systematic management support and distribution management skills. He majored in Management Informatics in university and is an expert in corporate management support and administration field.



C2XX Company of South Korea **Blockchain Development Company**

CXX Company is an IT specializing company in Korea which has strengths in Blockchain-specific technologies, Mobile, IoT, System Integration SI, and Commerce, including the Web. Especially for IoT field, it operates its own “Blockchain Institute” in order to study the commercialization of blockchains. Through this, various research and development are being carried out for practical use of the blockchain technology. In TouchCon Project, it is developing various technologies including blockchain core development, QR data code input and data conversion technology.

(2) TouchCon Advisors



M. Sooba Khan of Pakistan **Strategic Advisor**

M. Sooba Khan is a diplomat with a diverse and multidisciplinary experience in the Pakistan diplomatic office in the foreign country. Also, as a chairman of the Standing Committee on New Energy Investment, he is making various efforts for innovation and commercialization of the future energy. He pointed out that in the field of the 4th Industrial Revolution IoT, the space-time management of each device will require energy with special storage space, and the decentralization technology of the blockchain will eventually become the source technology of all industries.



Lee Sung-Sik of South Korea **Blockchain Advisor**

Lee Sung-Sik is a Technology Transfer Agent in Korea and he is an IT professional bureaucrat who has served for thirty years for the advancement of IT technology. He has been working in the core IT field in Korea Information Society Development Institute and Korea Institute for Advancement of Technology. As a director of Korea Association of BI Technology Commercialization and Korea Technology Transfer Agents Association, he is providing technical analysis of the initial StartUp companies and conducting various policy consultations for the development of IT field.



HANS of Indonesia **Policy Advisor**

In 2002, as the CEO of U-Save Marketing, a distribution company, he has attracted attention by developing various marketing models while performing advertising marketing work. In 2015, as we enter the digital age, he anticipated the future mobile advertising age. He is a practical marketing expert who created various distribution systems and applied them to the field. As the global corporation head of SINOPEX Global, he is leading the various future environment businesses.



Lee Jong-Gun of South Korea **Legal Advisor**

Lee Jong-Gun is a lawyer and receiving attention from industry with exceptional insights and knowledge supporting the future fourth industrial revolution. He is studying various legal limitations and regulations on the changing value of devices and the rights obligation to be applied in the AI and IoT era. He graduated from Chung-Ang University College of Law and currently a lawyer after working for Daeyang law firm.



Lee In-Sang of Indonesia **Blockchain Advisor**

Lee In-Sang is an autonomous driving and automotive engineering expert, majoring in Mechanical Engineering at both undergraduate and graduate school of Dankook University in Korea. He has been studying automotive engineering at university for 30 years. He has received lots of attention from academia in numerous papers related to automotive engineering research and has been working as a judge for scientific and technical government agencies including the Ministry of Defense. He is currently continuing various activities to spread the 4th industrial revolution in Indonesian academia.



David Kang of Canada **Business Development Advisor**

David majored in Electronic Engineering and he is a distribution expert who has been engaged in import and export trade in Ontario, Canada and has been engaged in various advertising marketing projects. He received lots of attention from local media as he made great success in his early VHS tape leasing franchise business. He is now leading distribution and marketing for Homelife Best choice realty in Canada.



Robert Kim of South Korea **International Trade Advisor**

Robert is a management specialist having 20 years of experience and know-how in overseas business. He graduated from Sogang University majoring in Business Administration and has accumulated experience in the trade team of Daewoo. In 2002, he established Taesan Corporation handling various products from all over the world, and its self-produced advertising products are exported to 10 countries around the world including Daiso. As a foreign trade expert, he continues his wide range of business activities.



KT. Jung of Japan **Marketing Advisor**

Jung is a management specialist who established pharmacy chains “Japan Drug” and Weekly Mansion “Piccolohakata” in Japan O2O (On line to Off line). She has been attracting attention by establishing diverse business environments focused on distribution and trading, centering on Fukuoka, Japan. A condominium she planned, “Piccolohakata,” has been successful through its unique operating method, and “Japan Drug”, which links the O2O market, is a model for the Japanese pharmacy industry through differential promotion and marketing.



Silvia of Indonesia **Community Advisor**

Silvia is a communication expert who works as a business communicator for various companies, including Jakoin Company, a distribution company. She has been involved in business consulting to support foreign companies' localization strategy in Indonesia. She will participate in global marketing of QR Data Code including global events of TouchCon project in the future.

11. Useful Reference Documents

S. Nakamoto. Bitcoin: a peer-to-peer electronic cash system

Organic Media Lab. Advertising, fused into network. 2016. 10. by Agnes YUN.

<https://bitcoin.org/bitcoin.pdf> Golem. <https://golem.network>

The DAO, <https://slock.it/dao.html> Vitalik Buterin, Ethereum Whitepaper,

<https://github.com/ethereum/wiki/White-Paper>

David Mazieres, Stellar Consensus Protocol, Tenx. www.tenx.tech

OWL Web Ontology Language Reference, <https://www.w3.org/TR/owl-ref>

Using Decentralized Governance: Proposals, Voting, and Budgets

Hodges, Andrew, Aaan Truing: the enigma, London: Bumett Books

<https://www.litecoin.org/litecointalk.io>, <https://coinmarketcap.com/currencies/>

N. Atzei, M. Bartoletti, T. Cimoli, A survey of attacks on Ethereum smart contracts,

<https://eprint.iacr.org/2016/1007.pdf> <https://github.com/feross/webtorrent>

<https://bitshares.org/technology/delegated-proof-of-stake-consensus/>

<http://coinmarketcap.com/currencies/volume/24-hour/#BTC>

<http://expandedramblings.com/index.php/twitch-stats/>

U.S. Commodity Futures Trading Commission.

CFTC, charges Ireland-based “prediction market” proprietors

M. Philips. What’s behind the mysterious intrade shutdown? Bloomberg, Mar. 11, 2013.

Sunny King, Scott Nadal, <http://peercoin.net/assets/paper/peercoin-paper.pdf>

Pavel Vasin <http://www.blackcoin.co/blackcoin-pos-protocol-v2-whitepaper.pdf>

Time (With Fee Only). Retrieved from, D. Ron and Shamir, “Quantitative Analysis of the Full Bitcoin Transaction Graph,” Cryptology ePrint Archive, Report

2012/584, 2012, <http://eprint.iacr.org/>. Barber, X. Boyen, E. Shi, and E. Uzun,

“Bitter to better, how to make bitcoin a better currency,”

in Financial Cryptography 2012, vol. 7397 of LNCS, 2012, pp. 399–414.



12. About advertising partner selection

「タッチコン財団は、広告マーケティングに参加する 2019 年広告主パートナーを渉外中である。現在まで 5 ヶ国、約 20 個会社の広告主が参加意思を明らかにした。広告主パートナーは、2018 年末まで約 50 ヶ所の会社が参加する予定であり、業種及び品目によって一定期間独占権も与える展望である。今後、タッチコン広告主パートナーは、別途の連盟に組織され、運用される予定である」

“QR Data Code Ad Marketing Partnerships”



13. TouchCon Eco-system Project Process

